

略年表

一九八二年	「日本文化の総合的研究方法に関する研究」（文部省科学研究費補助金）を実施。
一九八三年	「日本文化総合研究の研究体制のあり方に関する研究」（文部省科学研究費補助金）を実施。
一九八四年	国立民族学博物館の事業として、「日本文化研究に関する調査研究」を実施。
一九八五年	国際日本文化研究センター（仮称）に関する懇談会（文部省）と同調査会議（国立民族学博物館）を設置（四月）。 調査会議は、同センターの構想について中間報告（八月）。
一九八六年	調査会議は、中間報告について、国内外の日本研究者及び関係分野の研究者の意見を聴取。 調査会議は、同センターの構想について最終報告（三月）。
一九八七年	国際日本文化研究センター（仮称）創設準備室を設置（五月）。 創設準備委員会（文部大臣裁定）を設置（五月）。
一九八八年	国際日本文化研究センターを大学共同利用機関として京都市に創設、梅原猛創設準備室長が初代所長に就任、管理部（総務課、研究協力課）、研究部を設置（五月二二日）。
一九九〇年	情報管理施設（資料課）を設置、管理部総務課を庶務課、会計課に改組（四月）。
一九九一年	研究棟の一部完成により仮事務所から移転（七月）。
一九九二年	情報・管理棟、国際交流棟、図書館が完成し、開所式を挙行（一二月）。
一九九三年	北研究棟完成（一〇月）。
一九九四年	コンピューター導入（一月）。
一九九五年	情報管理施設に情報課を設置、本センターに総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻設置（四月）。 講堂、福利施設棟、日文研ハウス（世帯用）、図書資料館完成。 梅原猛所長任期満了により退職、河合隼雄国際日本文化研究センター名誉教授が第二代所長に就任（五月）。 外部委員による「第三者評価委員会報告書」作成及び「将来計画概要」策定。

一九九七年	創立一〇周年記念式典を挙行（五月）。 創立一〇周年記念シンポジウムを開催（一〇月）。 海外研究交流室を設置（四月）。
一九九八年	日文研ハウス（単身用）完成（三月）。
一九九九年	文化資料研究企画室を設置（四月）。
二〇〇一年	河合隼雄所長任期満了により退職、山折哲雄国際日本文化研究センター名誉教授が第三代所長に就任（五月）。
二〇〇四年	法人化に伴い、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センターとなる。庶務課を総務課に、会計課を財務課に改組（四月）。
二〇〇五年	法人化記念特別講演会を開催（十一月）。
二〇〇七年	山折哲雄所長任期満了により退職、片倉もとこ国立民族学博物館名誉教授が第四代所長に就任（五月）。
二〇〇八年	創立二〇周年記念式典を挙行（五月）。
二〇一〇年	片倉もとこ所長退職、猪木武徳国際日本文化研究センター教授が第五代所長に就任（四月）。
二〇一二年	管理・総務課と財務課を統合して総務課に改組（一〇月）。
二〇一〇年	第二図書資料館完成（六月）。
二〇一四年	『国際日本文化研究センター25年史―資料編―』を発行（三月）。
二〇一六年	猪木武徳所長退職、小松和彦国際日本文化研究センター教授が第六代所長に就任（四月）。
	創立二五周年を祝い会を開催（五月）。
	『新・日本学誕生 国際日本文化研究センターの25年』発行（一〇月）。
	第三図書資料館完成（七月）。
	インステイテューショナル・リサーチ室を設置（四月）。